



オンライン読書会

読んだ人も、
これから読む人も

『路上のX』

桐野夏生・作 / 朝日新聞出版 / 2018年(2021年文庫版)

～小説の中のリアルな“現代の人身売買”～

2022年7月2日(土)

① 10:10～12:00

② 14:10～16:00

*各回とも同内容で行います。
*10分前より入室できます。
*本を読んでいてもいなくてもOK。
ただし購入するか図書館で借りて
書籍もしくは電子書籍をお手元
にご用意の上ご参加ください。

オンライン開催 (Zoom)

参加費 無料 (定員30名)

*事前申込をお願いします。

使用言語 日本語

申込み 下記フォーム(右QR
コード)にてお申込みください。
当日開始2時間前までに
Zoomのリンクをお送りします。



<https://forms.gle/Mzxx85s7jivwTd5o9>

現代の日本にも人身売買がある!

私たちは、日本社会に今も人身売買があるという知識はあっても、その実態を“肌感覚”で知る機会はありません。

ところが桐野夏生さんはこの小説によって、路上に出るしかない少女たちが搾取される人身売買の構造を、リアルに描き出しました。この物語には、読む人をおののかせる“肌感覚”があり、そのリアルさに触れることで、私たちはより深く考えさせられます。

何が少女たちを追い詰め、何が大人たちを歪ませるのか……? 読んだ人も、これから読む人も、感じたことをシェアしあい、現実の突破口を探っていく機会になれば、と願っています。

ファシリテーター：栗山のぞみ

NFSJ副代表、フリーライター、
編集者。2012年からNFSJに参加。
共感的コミュニケーション(NVC)
を15年ほど前から学び続けており、
現在は多くの人と分かち合う活動
を行っている。

